

3Dスキャナの試作評価・解析



3D距離計測技術応用

3Dスキャナ ジェスチャセンサ サービスロボット



三次元距離計測技術とは・・・

三次元距離計測技術は今後画像情報の補完データとしてあらゆる分野で利用が期待されています。サービスロボット、ジェスチャセンサ、障害物検知センサ、セキュリティなど背景色に影響されることなく、手や対象物を特定でき、その動きをリアルタイムに取得できることから、ジェスチャ操作やロボットなどの歩行センサ、などへの利用に、また高精細な3D計測データを取得できるカメラでは、簡易な3Dスキャナとして、3Dプリンタの普及により3Dの入力装置としての市場も見込まれます。用途に応じた3D計測機器の選定・性能調査を行い、ご提案させていただきます。



3D距離計測スキャナ



3D距離計測スキャナ

特徴

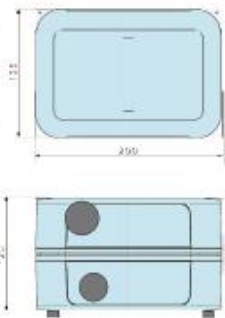
- 1秒程度の高速スキャンで撮影
- レーザーを使用せず安全
- 顔や人体など動きを伴う対象物でもOK
- 測定点は30万点と高精度
- PCレスで手軽に撮影可能

用途

- 顔や肌のスキャナ (美容、整形)
- 生体認証スキャナ (認証)
- 工芸品の形状計測 (工業デザイン)
- ゲーム・エンターテインメント

試作例

名称	M3DScanner
3D撮影範囲	W400 x D300 x H300 mm
撮影距離	40・80 cm
3D撮影精度	RMSE 0.5 mm 以下
分解能	測定点 30万点
3D撮影時間	1.1秒
インターフェース	HDMI、WIFI、Ethernet
入力電源条件	AC100 - 240 V 50/60 Hz
消費電力	50W以下
外形寸法	W200 x D135 x H130 (mm)
質量	1850 g
データ出力形式	OBJフォーマット、BMP
テキスト出力形式	BMP



テキストチャ



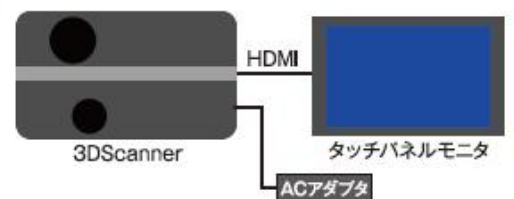
ワイヤフレーム



ドット



3D表示モード



システム構成